



★受験シーズン、真っ只中！

1月25日、26日に宮崎県内の私立高校入が行われ、52名が受験しました。特に、25日は寒波襲来により、降雪が残った状況でしたが、その影響なく無事に受験を終えることができました。

現在(1/27)までの合格発表では、「高専推薦入試」、「県外の私立高校入試」において、**「全員合格」**といううれしい結果が届いています。

また、先週2月2日に行われる県立高校推薦入試では、42名が受検することになっています。この推薦入試に向けても一心不乱に頑張っているので、結果を期待しているところです。

今、高原中にいい流れが来ています。“流れに従って流れを制す” この流れを大切に「志望校全員合格」にたどり着いて欲しいです。まだ、第1希望の受験が残っている人にとって、周りが続々と進路が決まっていく状況は、大変不安だと思います。しかし、今、最も大切なことは焦らないことです。常に体調の管理を心がけながら、**「コツコツやっているから大丈夫！」（コツコツが勝つコツ）**とメンタルの管理を頑張りましょう。また、**受験は団体戦！** 進路が決まった人も、最後まで仲間のことを考えて、受験の雰囲気を維持していきましょう。

★新燃岳を考える日 「想定にどうわれるな、最善を尽くせ、率先し避難せよ」

2011年1月26日の噴火から12年が経ち、当時を振り返り、防災についての意識を高めるためにこの日を設定しています。この日の午前中、防災学習を行い、午後、避難・引渡し訓練を行いました。どの学年も真剣に学び、災害が発生したときにどう防災行動・減災行動するのかについて考えました。



保護者の皆様、引き渡し訓練へのご協力ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

★「コロナ、インフルエンザに負けず、合格を掴め！」

1月23日(月)JAこばやはし高原酪農部会様より、受験生の3年生全員に牛乳1リットル72本を贈呈して頂きました。



☆☆ 高原酪農部会 会長 勝吉 裕二様からのメッセージ
もうすぐ受験ですね。
酪農家が一生懸命に絞った牛乳です。
栄養満点の牛乳を飲んでコロナやインフルエンザに
負けないように合格を掴んでください。

★記紀みらい塾

1月20日(金)に1年生を対象に「記紀みらい塾」を開催しました。「記紀」とは、「古事記」「日本書紀」という日本で最初の歴史書のこと、高原にまつわる神話や神話のことがたくさん書かれています。



宮崎県立看護大学の大館真晴(おおだてまさはる)教授から詳しい内容をたくさん話していただきました。ふるさと高原町の素晴らしさを学ぶことができました。

★令和5年度新入生への説明会

1月18日（水）に「新入生説明会」がありました。

本校に入学を予定している小学6年生と保護者の方、小学校の先生が来校して、授業を参観したり、中学校の様子などの説明を聞いたりしました。児童たちは、凛とした態度で、しっかり話を聞いてくれました。

私は、あいさつの中で、「ものの準備」「学びに向かう準備」「体の準備」「心の準備」の4つの準備について話をしました。入学を心待ちにしております。



★授業態度コンクール

12月16日～22日と1月10日～16日の2期に分けて、生徒会学習専門委員会主催で、授業態度コンクールが行われました。項目は、「授業中の態度」「忘れ物」「1分前着席」「あいさつ」について、毎時間評価しました。その結果は以下の通りです。

●第1位:1年1組 第2位:2年1組 第3位:1年2組

★節分 「鬼は外、福は内！」

「鬼は外、福は内！」元気な豆まきの声がする2月の節分。節分とは、季節の分かれ目を指し、もともとは、立春、立夏、立秋、立冬の前の日を言いました。今では、豆まきの風習が残っている2月の立春の前の日だけを言うようになりました。立春とは、春が立つと書きます。はじめて春の気配が現れるという意味です。旧暦では、このころが1年の始まりでもありました。まだまだ寒い日々が続く時期ですが、日差しの強さに春の訪れを感じ始める頃でもあります。節分には、昔の家庭では、柊の枝にイワシの頭を焼いたものをさし、門の戸にはりつけました。季節の変わり目には邪氣(悪い気)が入りやすいとれていたのでそれを追い払うためにこのような飾りをつけたり、大豆の煎ったものをまいたりしました。最近では、恵方(幸運を招く方角)を向いて太巻きをまるかじりする関西の風習も人気です。

今年も皆さんのご家庭でも行われると思います。是非この機会に家族で話し合って追い出したい鬼を決めてください。「スマホ使いすぎ鬼」「自分勝手鬼」

「忘れ物鬼」「夜更かし鬼」等々、いろいろな鬼が予想されます。家族全員で「鬼は外、福は内」とにぎやかに唱えてください。悪い鬼は、早く追い出して新しい気持ちで春を迎えるのです。

春の訪れを嬉しく思う気持ちは、世界共通なものであります。スイスのバーゼルという街では、「ファスナハト」という有名なお祭りがあります。人々が仮装してパレードを行い、厳しい冬を追い出し、春を迎える祭りです。道路狭しとパレードをする人々の姿は圧巻だそうです。長い冬の後にやってくる春のおだやかな季節は、寒い地方の人々にとっては、大きな喜びでしょう。春は、もうすぐそこまで来ています。健康に気を付けて一年のまとめである2月3月を乗り切ってください。

